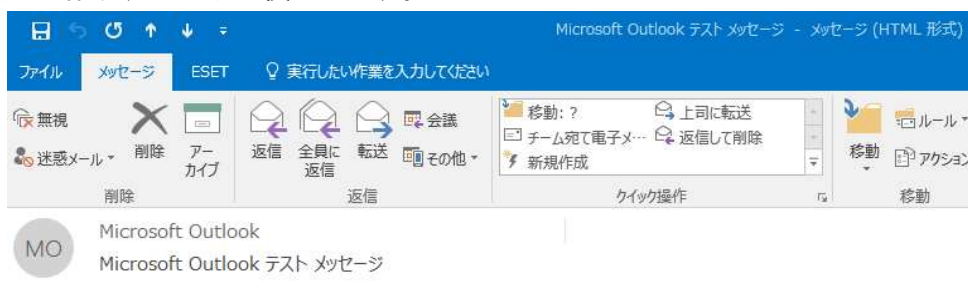


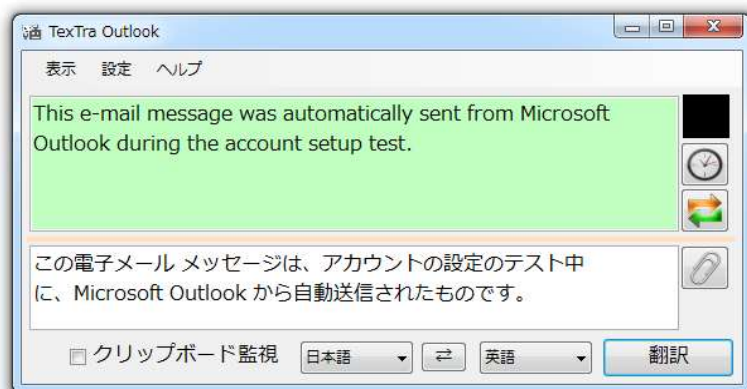
# TexTra Outlook Addin

TexTra Outlook Addinは  
Microsoft Outlook上で翻訳を行うための  
アドインです。

外国語のメールを読むときはもちろん、  
書くときにも  
文の作成、チェックに役立ちます。



この電子メール メッセージは、アカウントの設定のテスト中に、Microsoft Outlook から自動送信されたものです。



# インストール

- ・ インストール  
Setup.exeを実行してください。

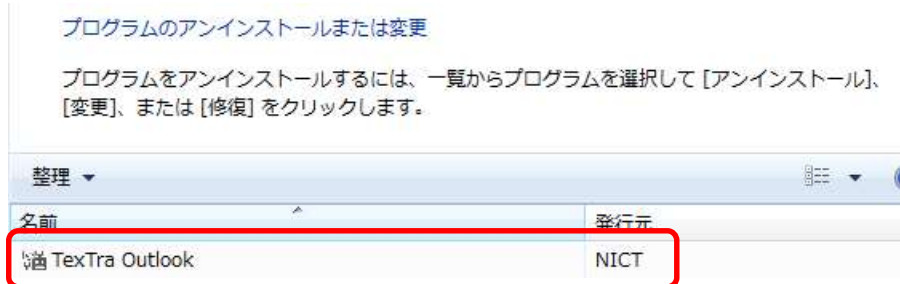
Outlookメインフォームの上部メニューに「TexTra」リボンがメニューに追加されます。



※ Outlook起動時に  
「構成システムを初期化できませんでした。」というエラーが発生する場合、  
下記のフォルダ内の「TexTra Outlook」という文字を含むフォルダを  
削除してください。

C:\Users¥(ユーザ名)\AppData\Local¥Microsoft\_Corporation

- ・ アンインストール  
Windowsのコントロールパネル>プログラムと機能 から  
「TexTra Outlook Addin」のアンインストールを行ってください。



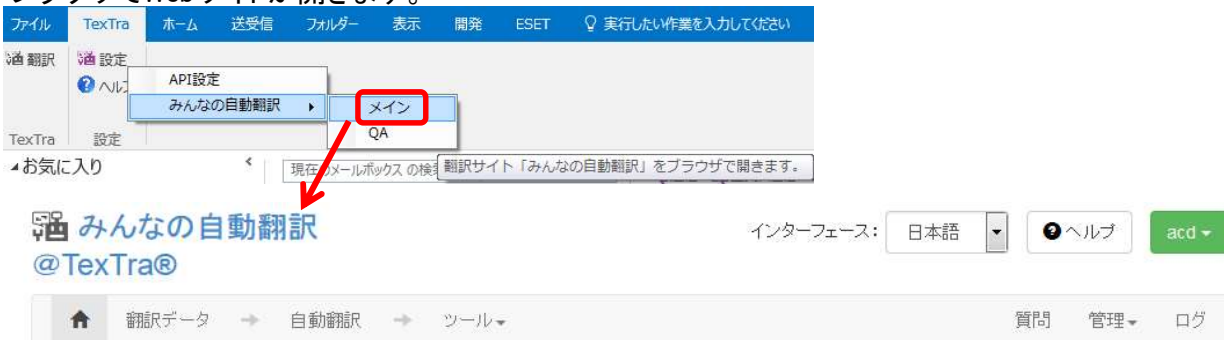
# みんなの自動翻訳

TexTraOutlook AddinはWebサイト「みんなの自動翻訳」と連携して機能を実現します。  
API設定画面では連携するためのパラメータを入力します。

<https://mt-auto-minhon-mlt.ucr.ign-x.jp/>

「みんなの自動翻訳」はブラウザ上で翻訳を行うためのWebサイトです。  
このサイトの翻訳を補助する機能・データを  
TexTra Outlook Addinから呼び出して利用します。  
(以降、サイト「みんなの自動翻訳」を「Webサイト」と呼びます。)

「メニュー＞設定＞みんなの自動翻訳」を押すと、  
ブラウザでWebサイトが開きます。

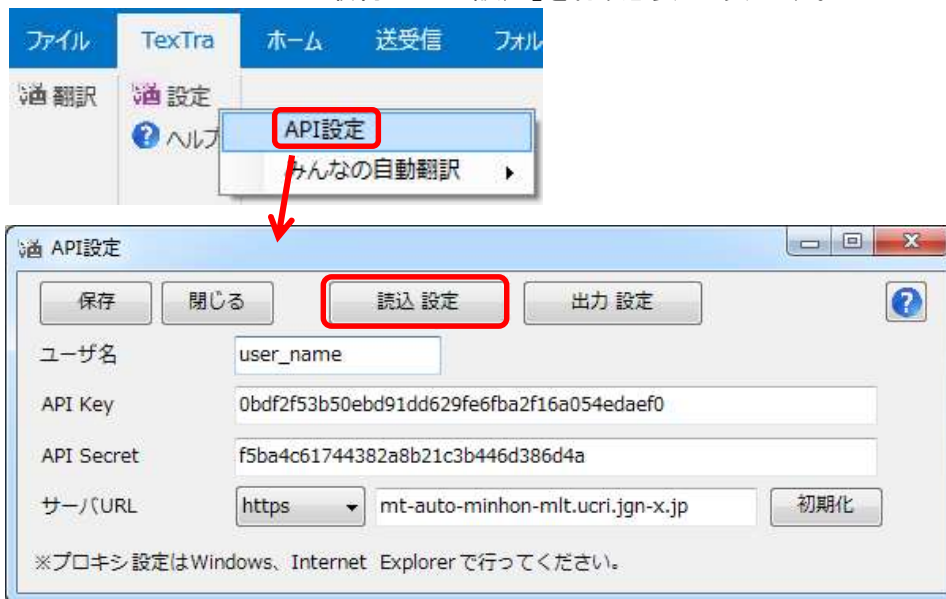


## 自動翻訳を使ってみよう!



# API設定

Webサイトと連携を行うために、  
TexTra Outlook Addinでは最初に「API設定」を行う必要があります。



「読み設定」ボタンを押して、  
本アプリをダウンロードした際に、  
zipファイルに同梱されている「setup.ini」を指定してください。  
API設定が自動で行われます。

「setup.ini」の内容を  
手動で本画面に貼り付ける方法でも結構です。

※ この画面で入力するサーバURLは  
「翻訳設定」の項で説明される  
「機械翻訳APIのURL」ではありません。

Webサイト「みんなの自動翻訳」からも設定は取得可能です。  
ログイン後、メニュー＞ツール＞WebAPIを選択します。



Web API一覧からいずれかのURLボタンを押します。



表示された画面から「APIKey」「API Secret」をコピーして  
TexTra Outlook AddinのAPI設定画面に貼り付けます。

リクエストURL	https://mt-auto-minhon-mlt.ucri.jgn-x.jp/api/list/term/
API key	0bdf2f53550ebd91dd699fe6fba2f16a054b
API secret	f5ba4c64744384a8b21b3b446b3

ユーザ名にはWebサイトログイン時のユーザIDを入力してください。

The screenshot shows the 'API設定' (API Settings) dialog box. It has buttons for '保存' (Save), '閉じる' (Close), '読込 設定' (Load Settings), and '出力 設定' (Output Settings). The fields are: 'ユーザ名' (User Name) with the value 'user\_name', 'API Key' with a long alphanumeric string, 'API Secret' with another long alphanumeric string, and 'サーバURL' (Server URL) with a dropdown set to 'https' and a text field containing 'mt-auto-minhon-mlt.ucri.jgn-x.jp'. A red box highlights the 'user\_name' field, and a red arrow points from it to a separate box on the right. This separate box contains the text 'user\_name', a 'パスワード' (Password) field, and a blue 'ログイン' (Login) button. A note at the bottom of the dialog box states: '※プロキシ 設定はWindows、Internet Explorerで行ってください。'

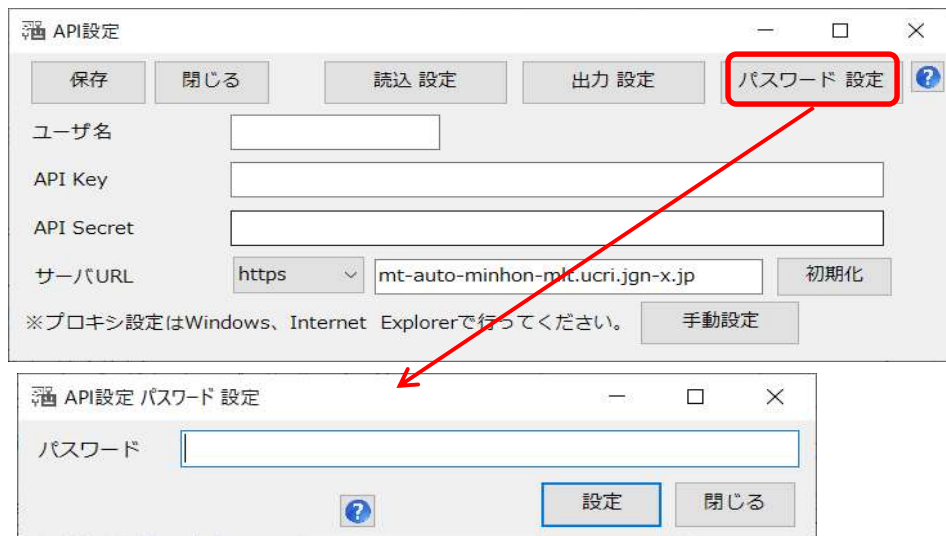
This screenshot is similar to the one above, but with a blue callout bubble containing the number '1' pointing to the 'サーバURL' (Server URL) field. The rest of the dialog box content is identical.

- ① APIサーバの設定です。  
通常、変更する必要はありません。  
URLを変更する場合は、  
プロトコル(http、https)の設定も行ってください。

※ 必要である場合、  
プロキシサーバ管理者に下記情報をお知らせください。  
ユーザーエージェント => 「TexTra Outlook NICT」

- ・ パスワード設定(管理者向け)  
API設定画面を開くための  
パスワードを設定します。

API設定を管理者側で行い、  
アプリユーザに設定を見せたくない、という場合に、  
本機能を利用してください。



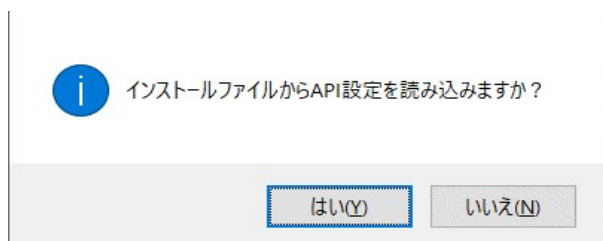
パスワード入力画面でリセットボタンを押すと、  
パスワードとAPI設定が消去されます。

- ・ 自動設定読込み(管理者向け)  
API設定を未設定時に  
API設定を自動で行う機能です。  
(API設定画面パスワードも設定されます。)

インストーラー、または、手動で  
インストールフォルダ(本プラグインのvstoファイルがあるフォルダ)に  
「api.ini」という名前の設定ファイルを配置してください。

設定ファイルは  
API設定画面でAPI設定を入力した後、  
「出力 設定」ボタンで出力してください。  
(設定ファイル内のパラメータは暗号化されます。)

API画面を開いた際、  
ファイルから設定を読み込むかどうか、  
メッセージが表示されます。



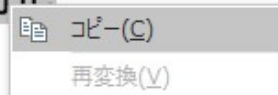
このメッセージを表示させたい場合は、  
API設定を消去してください。

# 翻訳

Outlook上のテキストを翻訳します。  
原文は手動入力の他、  
クリップボードを利用するの入力もできます。

翻訳したいテキストをコピーします。

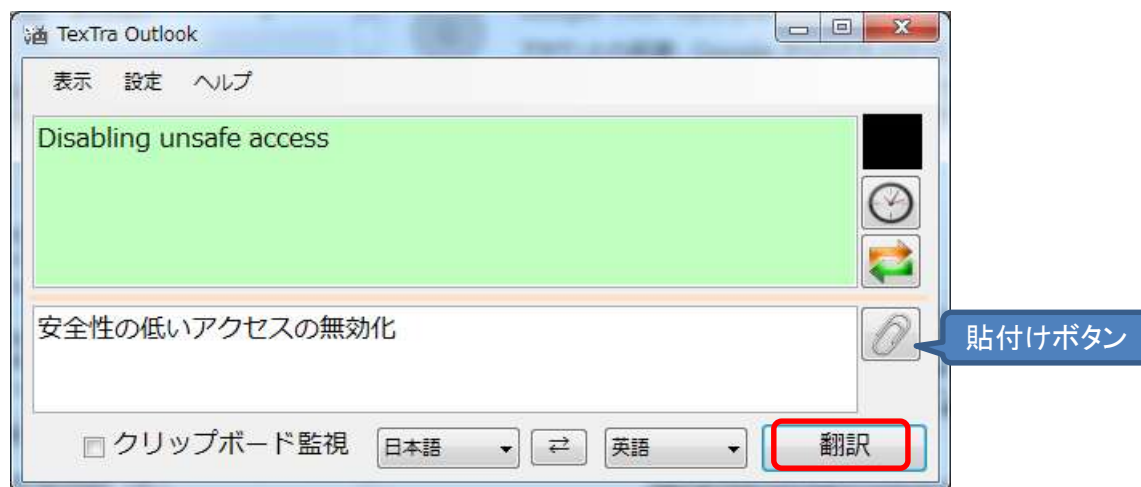
安全性の低いアクセスの無効化



リボンの翻訳ボタンを押します。

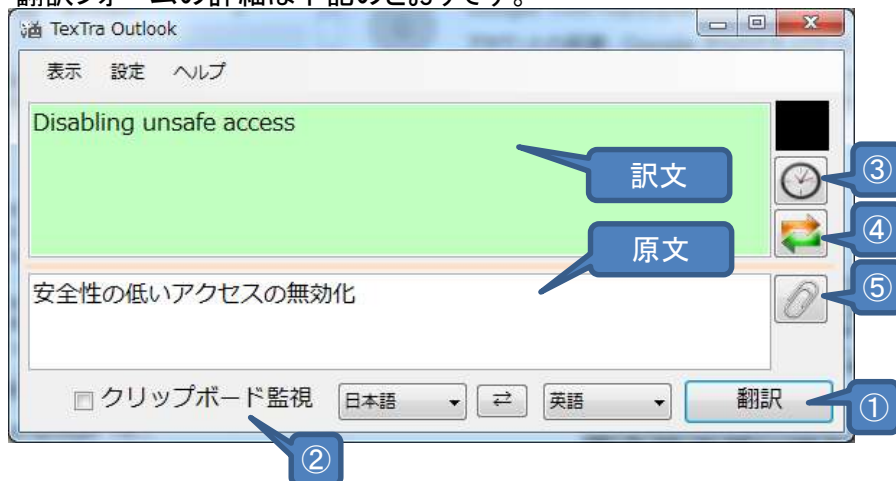


表示されたフォームで  
貼付けボタンを押した後、  
翻訳ボタンを押します。  
※原文は手動で入力することもできます。





翻訳フォームの詳細は下記のとおりです。



- ① 原文テキストボックス内のテキストを翻訳します。
- ② クリップボードにテキストをコピーするたびに自動で原文に貼り付けます。  
(テキストが翻訳以外に使われることはありませんが、個人情報やパスワードなどが送信されないようにお気をつけください。)
- ③ 翻訳履歴を表示します。
- ④ 原文と訳文を入替えます。  
同時に、言語を入替えます。
- ⑤ クリップボードの内容を原文に貼付けます。  
ショートカットはCtrl+Vです。  
原文内で通常の貼付けを行いたい場合はCtrl+Shift+Vで行ってください。

# 逆翻訳

翻訳文の翻訳を行います。  
正しく翻訳が行われているか、確認できます。

